

## こどもたちの生活リズムを学ぶ

10月29日（金）、鶴田町国際交流会館ホールで、鶴田町食育と生活リズム推進委員会（佐藤勝博会長）が主催する「平成22年度生活リズム研修会」が開催され、管内のPTAや保育士、近隣の市町村から関係者など合わせて60人が参加し、子どもたちの生活リズムについての理解を深めました。

研修会では、子どもの生活リズム改善に深く精通する、和洋女子大学教授 鈴木みゆき氏から「子どもの脳を育てよう～なぜ、早起きっ子は伸びる」をテーマにした講演が行われ、なぜ早起きする子は学習意欲があるのかなどをたくさん事例やイラストを使って分かりやすく聴衆に説明していただきました。



△あいさつをする佐藤会長



△正しい生活リズムは「早起きから」と述べる鈴木氏



吉小学校ハロウィーンの英語授業

10/20 みつば会が平成22年度鶴田町  
県庁賞状及び学校安全表彰状を授賞

10/17「秋の火災予防運動」  
防火パレードで各消防団を点検



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

## 感謝と決意語り荒関さん(五所高)が1位に

10月13日（水）、弘前文化センターで「青森県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会」が開催され、県内各高等学校から選抜された17人が出場し、その中で「沢山（たくさん）の人に感謝して」と題して発表した荒関佐紀さん（五所川原高等学校定時制3年・妙堂崎）が見事1位に輝きました。

この大会で荒関さんは、普通高校に進学したものの、生活が乱れ、先輩の助言で定時制に編入し、年齢の違うさまざまな仲間から勇気をもらい充実した学校生活を送れるようになったことやお世話になった方々への感謝を忘れず、これからは自立した生活を目指すといった決意を語り、県内1位という栄冠を手に入れました。

なお、荒関さんは11月21日（日）に東京で開かれる全国大会に出場します。



△11月8日（月）、中野町長に全国大会の出場報告をする荒関さん

## 児童がにぎり寿司に挑戦・菖蒲川小

11月9日（火）、菖蒲川小学校（川浪定雄校長）で、青森県社会教育総合センター主催「寿司づくりにチャレンジ～おいしい魚で健康ライフ～」が行われ、同校の4年生15人が初めての寿司作りに挑戦しました。

講師には、大阪府にある寿司店「鯖や」の寿司職人、右田高有佑（みぎたこうすけ）さんと青森県すし業組合理事長西村力さんを招き、児童たちに本場の職人から作り方が教えられました。

ネタ（刺身）の切り方、にぎり、軍艦巻き、手巻きと順番に作り方を習う児童たちは真剣そのもので、中には将来寿司職人になりたいという児童がいるほど興味いっぱいの寿司づくり体験になりました。



①関西弁で楽しく教えてくれた右田高有佑さん②自分で作ったとは思えないほどおいしい出来栄③ネタの切り方を教わる④最後で自作の寿司を試食



①菖蒲川小4年「ザ・ピーチボーイ（桃太郎）」②鶴田小3年音読劇「11匹のねこ」  
③梅沢小1年「おおきなかぶ」④水元中央小学校ではたくさんの祖父母の方々が訪れていました

## 各小学校が学習発表会を開催

管内の各小学校で「学習発表会」が行われ、日頃練習した成果が父母や祖父母、地域の方々の前で披露されました。

10月16日（土）は梅沢小学校と富士見小学校。10月23日（土）は菖蒲川小学校。10月30日（土）は鶴田小学校。11月6日（土）には水元中央小学校（兼三世代交流まつり）と胡桃館小学校で行われ、学年ごとに演劇や楽器演奏、また全校児童で行う合唱など、各学校で趣向を凝らしたさまざまな発表が行われていました。

訪れた父母や祖父母の皆さんは、懸命に頑張るひたむきなわが子の姿に目を細めていました。

## 一戸駅長が「地産地消の仕事人」に

9月29日（水）、道の駅つるた「鶴の里あるじゃ」駅長の戸明彦さんが、全国で131人目、県内で4人目（津軽地方では初）になる「地産地消の仕事人」に農林水産省から選定されました。

「地産地消の仕事人」とは、地域の農産物の生産、販売、消費をつなぐ中心的役割を果たし、これから地産地消のさらなる発展のために活躍が期待される方々で、農林水産省が全国から選定しています。

戸駅長は、「これをステップにさらなる地産地消の拡大を進め、また目玉となる特産品の開発にも力を注いでいきたい」とこれからの意気込みを語ってくださいました。



△農林水産省担当者から選定証を受け取る一戸駅長